



東京オリンピック1964と 日本の食卓



東京オリンピック1964関連企画の最終回です。

本学園は1964年の東京オリンピックで代々木選手村女子食堂とプレスハウスレストランのサービス業務に協力しました。

卒業生から寄せられた貴重な資料や月刊誌『栄養と料理』誌上の関連記事をもとに3年連続で東京オリンピックに関連した企画展示を実施しています。

1964年の東京オリンピックはその後の日本人の暮らしに様々な革新的な変化をもたらしました。冷凍技術の革新、低温物流方式のコールドチェーンのインフラ完備もそのひとつです。

オリンピック開催中の食事提供は最重要の課題。冷凍設備の充実や冷凍技術の開発は必須でした。オリンピックを契機に生鮮食料品などの輸送・保管技術が進歩し、学校給食やホテル・レストランの調理場、外食産業にも恩恵をもたらしました。家庭では冷凍冷蔵庫の普及につながりました。

月刊誌『栄養と料理』の誌面から見えてくる冷凍食品の流通や発展、また当時の日本人の食生活事情について紹介します。



『栄養と料理』1961年11月号
「ご飯とパンの栄養」を特集。同じ材料で作るごはんとおかずを紹介。



68年10月号
育ち盛りの子どもの昼食の栄養問題を取り上げる。



69年6月号
冷凍庫をフルに活用した1週間のお弁当。



70年6月号
「大阪万博世界の味フェア」万博の台所でも冷凍食品が活躍した。



完成した代々木選手村に招待され食堂の試食会に参加。



食堂サービス要員等のユニフォームの発表。



代々木選手村女子食堂。



食堂要員結団式。



食堂要員結団式であいさつする香川綾。



会期中に誕生日を迎えた選手をケーキでお祝い。



▲常設展示

2020年3月30日(月)～2021年3月初旬

開室日時：月曜日～金曜日 9：10～17：00

土曜日 9：10～12：00

※時間変更をする場合があります。詳細はホームページをご覧ください。

閉室：日曜・祝日・年末年始 ※学校行事等で閉室する場合があります。

入室料：無料

交通案内：東武東上線「池袋」駅より急行42分、

「若葉」駅下車徒歩3分

女子栄養大学
香川昇三・綾記念展示室

埼玉県坂戸市千代田3-9-21
坂戸キャンパス4号館(図書館棟)2階

☎049-284-3489

ホームページ <http://www.eiyo.ac.jp>